



「亀屋良永」
父・下邑 隆さん 息子・下邑 修さん

小さな菓子に込めた大きな想い

ぎょうさん

父「うちの菓子は見た目は素朴やけど

ひとつひとつに季節や文化など

京都そのものが「ぎょうさん」もっているんやで」

子「小さいころおじいさんにも教えてもらった覚えがあります。

京都をあつちこつち連れてもらったおかげで

知らず知らず知識が「ぎょうさん」身につきました」

父「先代の父にはいろいろと言われたもんや。

器があつての菓子や。器に見合った

ほんまもんの菓子をつくりなさい…と」

子「守るべきものは守る。

おじいさんの想いをお父さんが大切にしてくて

また、僕に伝わることで新たな歴史をつくっていくの shouldn't you

父「代々この想いを受け継いでいってもらいたいもんやなあ」

「ぎょうさん」は仰山と書き、昔は程度や数量
が甚だしく多い様を表す言葉であった。
最近ではもう少し広く、たくさん「やいばいば」
の意味で使われている。

おもいことばに話して
京ことば

「ON YOUR SIDE ～一緒にうれしい～」京都中央信用金庫は地域の歴史や文化をささえる活動を応援します。

 京都中央信用金庫